

○ワークショップ 「観光経済学」

開催責任者 経営学部 赤壁弘康
南川和充

2019年3月16日

3月17日

南山大学J棟5階J55教室



ワークショップは以下のとおり、開催された。

◇研究目標

観光産業、ホスピタリティ産業、ツーリズム産業、地域、都市、交通に関する経済学および経営学的観点からの研究をテーマとする。今年度は、前年度からの継続として①観光事業者意思決定（施設立地など）、②観光消費者行動（交通・宿泊など）、③観光振興（道の駅、リニア新幹線など）に加え、④観光の産業組織の経済分析など、観光の新動向に関する課題に取り組むことを研究目標とする。

◇報告者および題目

3月16日（土）

【研究報告】

1. 報告者：江口善章（兵庫県立大学環境人間学部教授）

論 題：複数遺跡の共同展示施設を設置する際の最適立地に関する定性的考察

-2 遺跡 1 展示施設で合計利潤を最大にする場合-

討論者：竹澤直哉（南山大学経営学部教授）

2. 報告者：堀 智考（岐阜県環境生活部観光生活政策課）
論 題：地域活性化に向けた観光政策のあり方について
討論者：天野景太（大阪市立大学文学部准教授）
3. 報告者：深見 聡（長崎大学環境科学部准教授）
論 題：「奄美・沖縄」の世界遺産登録に向けた問題点・観光の社会的効果の視点から・
討論者：有賀敏典（国立環境研究所主任研究員）
4. 報告者：野呂純一（学習院大学経済経営研究所客員所員）
論 題：訪日タイ人観光客に対するインバウンド政策に関する一考察
討論者：赤壁弘康（南山大学経営学部教授）
5. 報告者：津田康英（奈良県立大学地域創造学部准教授）
論 題：みやげ品小売の変遷について
討論者：角本伸晃（実践女子大学人間社会学部教授）
6. 報告者：角本伸晃（実践女子大学人間社会学部教授）
論 題：観光土産品（特に菓子類）の経済分析・土産品小売店の集積メカニズム・
討論者：津田康英（奈良県立大学地域創造学部准教授）
7. 報告者：林 涛（愛知大学大学院博士課程）
論 題：中華圏流行歌の歌詞から見る「旅」・「網易雲」サイトの 40 万曲を調査した
結果
討論者：江口善章（兵庫県立大学環境人間学部教授）

3月17日（日）

1. 報告者：PERLAKY Denes（山口大学院博士課程）
論 題：“Inbound Preparedness of Restaurants and Accommodations in Heritage
Destinations”
討論者：南川和充（南山大学経営学部教授）

◇ワークショップの討論内容

研究目標に沿って得られた成果について、以下では 3 件の概要を示す。

・深見報告

はじめに、観光の社会的効果の視点からみた「持続可能な観光」という概念、およびその典型であるエコツーリズムの概要を紹介している。その事例として「奄美・沖縄」を取り上げ、観光動向と世界遺産登録への期待を説明している。世界遺産登録と観光との両立のためには、ホストとゲストの相互理解が重要であるとして、とりわけ環境保全の意識喚起としての協力金・入域料へのゲスト側での理解を醸成する必要性を述べている。まとめとしては、世界遺産の存在が「持続可能な観光」に繋がるという原点から、自然環境と人間環境との不可

分的保全の実施が肝要であり、そのためには地道な意識喚起が必須であり、エコツアーガイド研修・認定制度、通行規制自主ルール制定などといった観光教育（よき観光者、よき受入者の育成）の場の重要性を提起している。

・野呂報告

今後日本を訪れるタイ人からみた日本の魅力について質問票調査に基づいて検討している。来訪するにあたって期待することとしては日本食、ショッピング、自然・景勝地、繁華街・街歩き、テーマパーク、温泉といった項目が上位であった。数量化 II 類によって、期待する項目ごとに、期待度（大いに期待する・全く期待しないの 5 段階）の説明変数が来訪意向に影響を与えているかを分析し、来訪意向が高くなる群と低くなる群を判別した。また、都道府県ごとにその認知度と来訪意向の関係を考察した。

・林涛報告

中華圏において中国語曲のなかの「旅」に関連する歌詞の変化はどのようなものか、その変化は中国の時代的变化を反映しているか、タイトルや歌詞に含まれる特定の地域（例えば東京）に対してどのような気持ちでその曲が歌われているかを明らかにしようとしている。音楽曲サイトの歌詞データベースを用いた実証分析により、中国語流行歌歌詞に現れる都市名の時代的变化はおおむね中国人の海外旅行の変化と一致していることが分かった。また、「東京」関連の曲はポジティブなものが多くあり、観光交流によってイメージの変化につながったと考えられると結論づけている。

◇研究成果発表

水野英雄、「地方港湾への外航クルーズ客船の寄港による地方創生」、海事交通研究（年報）第 67 集、山縣記念財団海事交通文化研究所、pp. 3-14、2018 年 12 月。

深見 聡・沈 智炫、「世界遺産観光における観光教育の重要性 - 『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』を事例に -」、日本観光研究学会全国大会学術論文集 33、pp.265-268、2018 年 12 月。